

ハロー! 東田

東田自治区だより
 第302号
 平成28年5月発行
 編集: 広報委員会
 (毎月15日発行)

熊本地震から学ぶこと

避難所をあてにしない

4月14日午後9時26分に震度7の地震が熊本地方で発生しました。その後、16日午前1時25分にも同じく震度7の地震が同地方を襲いました。同じ地域で震度7の地震が2度も発生するという、過去に例のない地震で、甚大な被害が発生しました。阪神淡路大震災は地震後に発生した火災、東日本大震災は津波による被害が特徴でありましたが、今回の地震は家の倒壊が圧倒的に多いことが特徴といえます。今回の地震を教訓に、改めて各自が行ってほしい地震への対策を挙げてみました。



①住宅の耐震化(基本中の基本)

3月に市から全戸配布されたハザードマップによれば、東田自治区の最大震度は全域で「震度6弱」と想定されています。

耐震基準が大きく変わった昭和56年以前に建てられた住宅は特に要注意。市では、耐震診断員による無料の耐震診断等を実施しています。この機会に我が家の状況を把握しておきましょう。



住宅の耐震化は必須(市提供写真)

②家具の固定(下敷きで死亡も)

今回の地震でも住宅は持ちこたえたのに家具の転倒でケガをしたり、物が散乱して住めなくなった方が多くいました。冷蔵庫や食器棚が倒れて避難経路を塞いでしまったり、タンスなどの下敷きになってしまわないためにも家具の固定をしっかりしておきましょう。



家具は簡単に転倒(市提供写真)

③水と食料の備蓄(避難所頼みは限界)

今回も避難所への水と食料の確保が問題になっていました。「いざとなったら避難所に行けば何とかなる」と思っていたら大きな間違いです。

東田自治区の最寄の避難所は、山之手小学校と竜神中学校。しかし避難所の倉庫に備蓄してある非常食の数は、400食程度に過ぎません。1日3食として、たった130人分程度です。市全体では17万食の非常食を用意しており、被害の状況から様々な場所から避難所へ運び込む想定となっていますが、行政機能のマジヤ交通網の状況により、運搬が遅れたりすることが想定されます。まずは、家族の人数×3日分の非常食と水を備えておきましょう。なお、市の上下水道局が5年間保存できる災害備蓄用ペットボトル水を販売しています(詳しくは「よた水物語」で検索)。



また、避難所の収容人数については、山之手小学校で430人程度、竜神中学校で860人程度と想定されています。この地域の人口を考えれば、避難所に希望者が入れない可能性が高いことを認識しておかなければなりません。むしろ避難所はあてにならないと自覚し、できるだけ自力で生活する覚悟と準備をしておくことが必要です。

そして、日ごろから近所さんと情報交換をしておきましょう。何気ない近所さんとの会話で、いざという時に大きな力になったりします。自分が助ける側になるかもしれませんし、助けられる側になるかもしれません。いざという時のための備えを改めて見直しましょう。

お知らせ

◆ふるさとづくり委員交流会◆

◇日時/6月4日(土)

午前10時～12時

◇場所/ハローホール2階集会室

◇内容/各団体の紹介、活動報告、意見交換など(年2回開催)

◇連絡/関係者には別途案内あり

◆全市一斉「環境美化の日」にご協力を◆

◇日時/6月19日(日)午前7時～

小雨決行(雨天時は26日に延期。延期の場合は6時半までに連絡網で伝達。連絡がない時は実施)

◇分別/集めたごみは分別する。刈草や木、砂と泥は自治区で回収しますので、8時30分までにごみステーションに出してください。

◆花いっぱい事業(花壇の花植え)◆

◇日時/6月19日(日)午前10時頃～

◇内容/花壇の花植え

◇主催/東田フラワークラブ、地域活性部

東田心風

熊本地震に学ぶ近所の助け合い

4月14日に発生した熊本地震から早1か月。今なお多くの方々が大変な避難生活を余儀なくされています。東日本大震災の記憶も新しいのに熊本地震はまだ従来体験したことのないタイプの地震となりました。東海地震がいつ来てもおかしくないと言われている中、私たちの地域にとっても決して他人事ではありません。

地震等の自然災害では予測出来ない事が起きるものだと改めて思えます。私たちに出来る事は、被災地への支援とともに、日頃からの備えをしておくことです。家の耐震化や食料の備蓄などの自衛はもちろん、近所のコミュニケーションを良くしておく、そして万一起きてしまったら、お互いに助け合っていくことに尽きると思います。国・県・市をはじめ、警察、消防、自衛隊、ボランティアの方々からも応援を頂くことは、本当にありがたい事ではありますが、地域の再建には、そこに住んでいる住民が、自分たちで何とかしていくという気持ちを長期間強く持つて粘り強く行動することがありません。改めて自治区活動の大切さを感じ、訓練も具体的な想定をして取り組んで行きたいものです。(や)

水源橋線が完成

約30年の大事業

東田自治区を東西に横切る都市計画道路水源橋線(県道491号豊田環状線)の整備工事が3月に完了し、約30年にわたる一大事業が完成しました。水源橋線は昭和47年に幅20mで都市計画決定され、その後幅30mに変更されました。そして愛知県の実業として平成元年に事業認可が下り、設計、用地買収、工事が順次行われてきました。



東田自治区内は、神戸屋からガストの間が平成16年度に完成し、さらに曙町交差点までの区間の事業が平成19年に始まり、今年3月に完了、全線が開通しました。

自治区では平成4年に「東田フューチャーフォーラム」を組織し水源橋線の景観について県に提案し実現させるとともに、平成8年には「交通検討委員会」を発足させ、関連市道の整備など水源橋線の事業に伴う諸問題を県、市と調整してきました。

電線が地中化され、歩道と自転車道が分離された美しい景観をもつ水源橋線。この先も愛される道になってほしいものです。



消防団が表彰を受ける

東田自治区が属する豊田市消防団第3方面隊第12分団が3月13日(日)、豊田市消防長より「竿頭綬(かとうじゆ)」を受章し表彰されました。竿頭綬は、平素から消防の使命の達成に努め、他の模範となる消防団に贈られるもので、長いリボンに記章と表彰された内容が記されています。写真左は12分団に与えられている「救助資機材搭載型小型動力ポンプ車」で、市内に1台しかない最新鋭のもので、表彰状を持っているのは、東田代表の消防団員松尾泰寿さん。



計報

ご冥福をお祈りします
 4月29日(金) 加藤定一さん 89歳 南4組 寿町5丁目

今月は片面です

P-BASE
 その一歩が
 明日の元気。

各種機械部品、治工具、試作など製造、設計

岩月工業所(株)
 TEL.05657-14123

お酒・惣菜・調味料
 株式会社 **菊屋**
 寿町4-5-2 TEL 28-4664

フォト&ムービーサービス
 写真&ビデオ撮影・空撮

KK・アルバ
 寿町4-57-2 TEL 24-6005

冷暖房 空気調和 給排水 衛生 浄化槽
 電気工事 各種配管設備工事 設計施工
愛豊管工株式会社
 寿町8-66-1 TEL 27-0171

国税局・指定非営利活動法人

コスモスとよた
 緑ヶ丘7-61 TEL 74-0027